

四、丙派益々強硬
關東労働同盟会は統同盟中央委員会の状態に嫌わす
十一月十六日理事會を閉じ労働階級の大同団結を妨
げ労働運動の進展を阻得するを名として、九記六名の
除名を決議し之をえられぬ組合に通告した
渡辺政之助（東部合同）相馬一郎（全上）春日庄
太郎（關東不刷）河田賢治（關東鉄工）高松市太
郎（全上）秋浦啓一（全上）
右の通告に接した關東鉄工組合は十一月二十二日代
議委員会を開き七十三名出席疑議したが同盟会幹部派
は其数僅に十七名にして採決の結果の明ぶるを悟り
聯袂退却し、残留者四十六名全會一致を以て同盟会の
要求を否認し、此旨を統同盟中央委員会に申出た
此に於て關東同盟会は關東鉄工組合を陳名し、關東鉄
工組合中の右傾派は合離して別に東京鉄工組合を組
織し（十二月六日成立）關東同盟會に加盟した。

五、中央委員会の調停本る
事態此の如きを以て十一月二十四日及二十七日の中
央委員会最後の解決に到達するを得ず、幸しくして組
合をして陳謝せしむる事及び被除名者をして陳謝せ
しめ且当分役員たるを遠慮せしむることの二項を申
合せ、各委員は一たん選挙区に帰り其の意向を取纏む
べく努力する事があつた。

かくして十二月十八日に至り最後の中央委員会に開
催せられた其席上に於ても議論面出したが、結局關西
同盟会選出中央委員が直に五組合の統同盟直屬を認
めむとするに對し、關東同盟会及鉦夫總聯合代表者は
被除名者六名の自決を條件として之を認むべきを主
張して相譲らなかつたが、恰もよし六名が自発的に自
決を申し出たので、終に之の通り決定し、給議両者
互者の同意を得、茲に事件は一箇落を免るに至つた。
一、關東同盟会、五組合除名は之を認む、五組合は今